

受付番号 2022-55

許可番号 大歯医倫 第 111261-0 号

研究課題名 口腔解剖学教育における動画教材の有効性

研究責任者 松島 恭彦 申請者 松島 恭彦

研究終了日 2024 年 3 月 31 日

所 属 口腔解剖学講座 所 属 口腔解剖学講座

職 名 助教 職 名 助教

申請の概要

歯科医学を習得する方法は以前より書物を読み、講義を聴講し、実習を行うなどであった。新型コロナウイルスの流行により、学生は講義を対面で受ける機会が減り、Web 講義の形態で受講する事が増えている。

口腔解剖学は歯の形態学を教授する学問であるが、歯の形態は三次元的であり、文章や絵図で詳細を伝える事は難しい。今回歯の鑑別に関する動画教材の有効性を確認できれば、口腔解剖学教育の更なる質の向上が期待できる。

2022 年度に口腔解剖学を受講した第 1 学年及び第 2 学年の学生に歯の鑑別に関する講義を行い、また口腔解剖学の実習中に歯の鑑別のデモンストレーションを実施した。第 1 学年の学生には更に歯の鑑別のデモンストレーション動画の配布を行った。歯の鑑別のデモンストレーションから一定期間後、学生に歯の鑑別試験（上下左右側の中切歯から第二大臼歯まで全 28 歯の 2.5 倍大模型を使用し、全歯各当部位に配置する。全て正解で合格とする。試験は 1 日 1 回受験可とした）を実施し、学生が合格するまで行った。本調査では、学生が何回目の歯の鑑別試験で合格したかを第 1 学年及び第 2 学年の学生で比較検討する。

また、学生に対しアンケートを行い、歯の鑑別のデモンストレーション動画の感想や使用状況、並びに学生の情報デバイスの使用状況と習熟度、学習習慣等について調査し、総合的に動画教材の有効性を評価する。